



一昭和大学歯科病院の理念一

患者本位の医療  
先進医療の推進  
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 岡野友宏  
編集責任者 広報委員長 高橋浩二  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

## 新年のご挨拶

## 昭和大学歯科病院 院長 岡野 友宏

あけましておめでとうございます。皆様にはそれぞれ、素晴らしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、本院は先進的な歯科医療の推進とともに、特別な配慮を必要とする患者さんの診療にも力を入れてきました。同時に歯学部附属病院として学生や臨床研修医など、将来のわが国の歯科医療を背負って立つ若い方々の臨床修練の場としても機能してきました。これらはいずれも患者さんをはじめ、病院各位のご理解とご協力の下で推進できることと認識しております。本年も引き続きのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

私は昨年のご挨拶で、診療録・診療情報の電子化を推進するとお約束しました。残念ながら種々な理由でこれが進んでおりません。現在は手書きの診療録と一部の電子入力が入り混じっており、診療側の負担が多だけでなく、患者さんにも待ち時間増となっています。電子化は世の流れではありますが、診療内容の記載や診療報酬との関係付け、診療情報の守秘性と互換性など、これらに賢く対応できるシステムの構築は必ずしも容易ではありません。システムの導入を急ぐ必要はありますが、性急な判断によってかえって混乱するような事態は避けたいと考えております。しばらくの猶予をお願いいたします。

昨年、これまでの各専門診療科に加えて、総合歯科(地域連携歯科)を開設しました。地域の開業の先生方との連携を一層深めるためです。本院でなければできないような診療部分を本院が担当し、その後は地域の先生に戻っていただきます。これは専門的かつ先進的な医療を推進する本院の使命であるとともに、患者さんには安心・安全な医療を進めるという使命にも通じます。

本院は学校法人昭和大学の附属病院です。本学には旗の台の昭和大学病院の他に藤が丘、横浜市北部、豊洲、烏山にも附属病院があります。これらの病院は地域の中核病院として機能していま

すが、各病院間では様々な情報交換や人的交流があります。それら病院の中にはすでに歯科室のあるところもあり、主として入院患者さんの口腔ケアを行っています。誤嚥性肺炎の減少に有効とされるからです。引き続きその充実を図るとともに、本年は各地域の開業歯科医と連携し、地域医療に貢献できる歯科室へと充実を図る予定です。

ところで、私は昨年暮れ、北米放射線学会RSNA(米国シカゴ)に出席しました。日本の若手放射線科医が堂々と英語で質疑応答をしている姿に感銘を受けました。この学会は全米随一の巨大な学会ですが、その背景にはCT・MRI・核医学装置といった大型放射線機器開発に関わる企業間の熾烈な戦いがあります。その最先端を米国のGE、欧州のシーメンスとフィリップス、日本の東芝、この4社が牽引しています。今年はCT復権の年で、回転時には20-30Gにも及ぶという機械的構造もさることながら、気が遠くなるほどに複雑な画像形成技術により、針を使う侵襲性の高い検査に代わり、同時に患者被ばく量を極限にまで減少させようという機器が開発されています。一方で日本の低医療費政策は医師や病院を疲弊させています。例えばCT・MRIの検査費は米国の1/5から1/10です。過日のテレビで科学技術費の削減を求める政治家が、世界一の機器を開発する必要はどこにあるかと発言していました。こうした意識が再び優秀な医師や技術者を海外に流出させます。世界の最先端を目指すこと、常にトップランナーであるという気概、これは先生方にとって非常に重要な「モラル」だと思います。それには国民医療費や科学研究費の増額という形での国を挙げての支援が必要です。

新年にあたり、歯科病院の、そして私の思いを述べさせていただきます。



歯医者さんはお好きですか？と聞かれて、ためらわず「はいっ！」とにっこり答えられる方は稀だと思います。よほどマゾな方でしょうか。そうです。私たち歯医者には確かに嫌われています。たとえ非常にイケメンだったり美人女医だったとしても、削る機械の音や振動、そして痛くされた思い出等々から、できればお付き合いをしたくない職種であろうかと思えます。一般の方々はそれでも治療が必要であれば仕方なく受診するでしょう。ところが世の中には、病的に歯科を受けられない方々が多いです。「歯科恐怖症」と呼ばれる方々です。大きく2つのタイプに分けられます。

その一つは、歯医者さんの指や器具が口の中に入ってくると、または来そうになるだけで「オエッ」とこみあげてしまい、治療ができない方々です。ある程度かさばる物が口から喉へと侵入しようとする、どなたにも起こる反射です。大きな異物が喉に詰まって窒息しないように誰にでも備わっている、命を守るためのものです。超敏感なこのような方々は、歯が痛かったり、入れ歯の必要性を痛感していても、歯科医院で嘔吐して迷惑をかけてはいけないとの思いから、写真のような状態になるまでなかなか歯医者さんの門をくぐれません。まじめで繊細な方が目立ちます。

もう一つは病的に歯科が怖い方々です。歯科医院の入口に立つだけで冷や汗が出て、足がすくんでしまう方。治療台の上で体がこわばり、心臓は早鐘のように打ち、精神性の発汗が止まらない方々です。治療を始めようするとパニックになったり、過呼吸の発作を起こすことも少なくありません。ほとんどの方が以前に歯科で怖い思い、痛い思いを経験しています。私が手掛けている患者さんの中には町で歩いていて歯科の看板を見ただけで冷や汗が出、回り道をしないと目的地までたどり着けなかった方さえいらっしゃいます。

このような方々を治療することが私のライフワークの一つです。詳しい説明はお会いした時にいたしますが、安全な鎮静剤を使うものです。全身麻酔のように体に大きな負担をかけることはなく、煩雑な検査や入院も必要ありません。鎮静剤が効いている間は非常にリラックスし、歯科治療への恐怖感が抜けるのです。体験していただけないと、どんなに快適であるかはよく分からないと思いますが、今までの患者さんで「もう2度とこりごりだ」とおっしゃった人は皆無です。治療が終わった後、皆さん異口同音に「こんなに快適に治療が受けられる方法をもっと早く知りたかった」とおっしゃいます。私も何度も体験しています。自分でよいと思わなければ勧めません。患者さんの中には、私が病院をかわる度に追いかけてくださる方や、はるばる北海道や山形から飛行機でいらっしゃる方もいるほどです。患者さんの個人情報をお知らせしますが、当院の岡野病院長も治療の際にこの方法を体験し、いたく感動してくれたのです。

この方法は歯科恐怖症の方でなくとも、痛くなく快適に歯科治療を受けたい、との希望を持つ方すべてに適応です。ご希望の方、もっと詳しく知りたい方はご遠慮なく受付でお尋ねください。総合歯科の者が懇切丁寧に説明いたします。

アメリカで人生を快適に送るために仲良くなるべき職業人が2人いるそうですがご存知ですか？一人は敏腕な弁護士。そしてもう一人は優しく上手な歯医者さんなのだそうです。



嘔吐反射が強い20歳代の男性の口の中。ほうぼうの歯科で受診するも治療できず、筆者に初めて受診したときの状態

今回は「インプラント補綴のシミュレーションソフト」を使用したより侵襲の少ない(傷口が小さく、腫れも少ない)治療法について紹介いたします。

通常インプラントを埋め込む際には、歯肉を切り、骨の面を一部露出させて行います。インプラントを埋め込むイメージはちょっと怖いですね。ほとんど全ての患者さんは想像ただけで恐怖を感じます。その恐怖感を少しでも和らげる方法の一つとして静脈内鎮静法があります。これは麻酔科の先生にお願いして患者さんを半分眠ったような状態になって頂き、目覚めた時には手術が終わっている方法で、患者さんの精神的な苦痛を和らげるために有効です。一方、術中の侵襲を少なくして術後の腫れを抑える方法もあります。

まず、前回紹介しましたインプラント補綴のシミュレーションソフトを用いて、あらかじめインプラントを埋め込む位置をコンピューター上で決定します。(図1)次に、インプラントを埋め込むためのマウスピースを設計し、データをスウェーデンの会社に送ります。そこでは工業分野でも多く用いられているCAD/CAMという技術によりマウスピースを製作し、1週間ほどで写真のようなマウスピースが届きます(図2)。

次に、手術当日の流れです。まず、インプラントを埋め込む前に、マウスピースをお口の中に固定します(図3)。そしてマウスピースに開けられた穴に沿ってインプラントを埋め込んでいきます(図4)。埋め込んだインプラントや患者さんの状態によっては、手術当日に仮歯を装着し、帰宅していただくことが可能です(図5、6、7)。

歯肉を大きく切り開かないため、従来の方法よりも術後の腫れを少なくすることが可能です。また仮歯を即日装着して帰宅して頂くことは、患者さんの生活の質(QoL)の低下を抑えることにもつながり、仕事などで歯が無い時期が許容できない患者さんの希望に沿うことが可能です。

まとめ:

2回にわたり、インプラント補綴のシミュレーションソフトを用いた治療法について、紹介いたしました。これらシミュレーションソフトを用いた分析、侵襲の少ない治療法そして、インプラントを埋め込んだ当日の仮歯装着などについては、患者さん個々の症状に応じて検討するものです。ご不明な点は、一度担当医にご相談ください。

インプラント治療についてご興味を持っている患者さんのご理解に少しでもお役に立てれば幸いです。(前回、今回の内容について、無断転載を禁じます。)

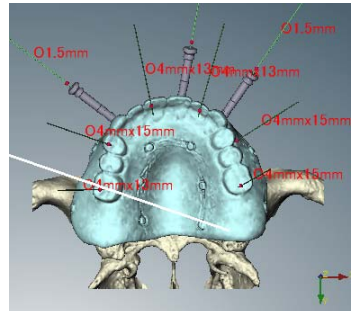


図1:インプラントを埋め込む位置をコンピューターでシミュレーション、設計します。



図2:インプラントを埋め込む位置を設定したマウスピース



図3:図2のマウスピースを取り付け、必要最小限の歯肉に穴を開けます。

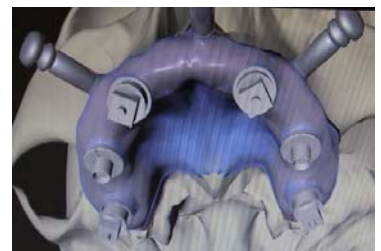


図4:インプラントを埋め込みます。



図5:埋め込んだ後、仮歯を取り付けます。



図6:インプラント埋め込み直後の状態(補綴科、馬場教授提供)



図7:インプラント埋め込み当日に装着した仮歯(補綴科、馬場教授提供)

## 歯科ドック 紹介

歯は、虫歯で痛くなったり、ぐらぐらして噛めなくなってから治療を受けるのでは手遅れになるケースが多く、歯を失う危険性が高くなります。それよりも、常に予防に心掛ける方が、痛みや苦痛を経験することも無く、快適で、しかも経済的にも時間的にも負担が少なくてすみます。また、生涯、自分の歯で美味しい物を美味しく食べることができ、健康的で質の高い生活を送ることが出来ます。「歯の大切さはそれを失ってみて始めてわかる」といいますが、失ってからではもう遅いのです。このようなことから昨今、ケアよりケア、すなわち治療よりも予防の大切さが強調されています。

昭和大学歯科病院では、平成14年9月から「歯科ドック」を開設しましたが、これまで受診された方からは非常に高い評価を頂いております。

受診対象は、以下の方です。

- ・ご自分で健康と考えておられる方
- ・治療が終了して健康を取り戻された方

なお歯科ドックでは健康相談・健康指導は行いますが、応急処置も含めて治療行為は行っておりません。

(歯科ドック 科長 久光 久)

## 昭和大学人権啓発標語

平成21年度人権啓発に関する標語を募集し、歯科病院より選出した作品(職員の部・家族の部)が法人本部より見事表彰されました。

大丈夫?あなたの言葉で人は救われ、人は傷つく! (職員の部・第2位 歯科病院教員)

あいさつは人をつなぐ魔法です!

(家族の部・第1位 歯科病院教員ご家族)

みなさんも標語の言葉をきちんと受け止めて快適な環境で業務を遂行できるよう、努力しましょう!

(管理課)

## 編集後記

一昨秋以降の世界的な景気後退の影響を受け、日本経済は失速し、昨年は歴史を変えた民主党への政権交代が行われたものの、デフレスパイラルから抜け出ることもない状況のまま新年を迎えることとなりました。歯科医療や大学を取り巻く環境も厳しい状況ですが、岡野病院長の言われる「トップランナーとしての気概」を失うことなく最高峰の歯科医療を推進してまいりますので、本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

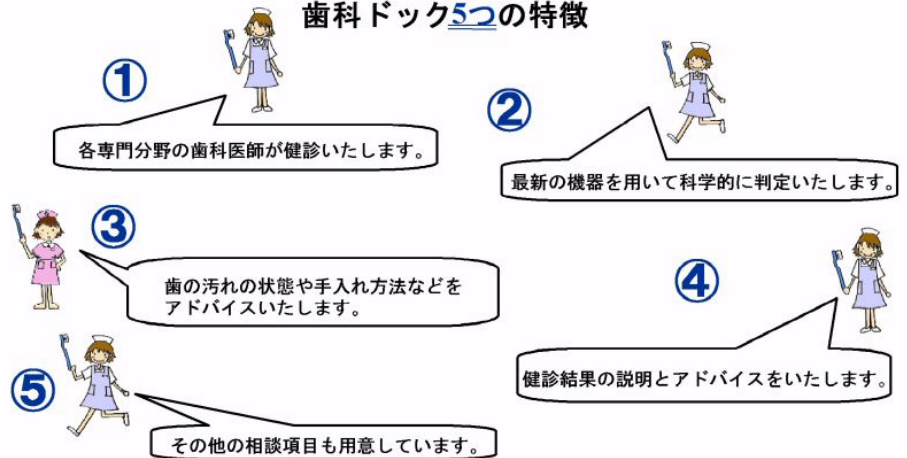
(K.T)

## 昭和大学歯科病院

### 歯科ドックのご案内

～お口の健康に自信がありますか? さわやかなお口で快適な生活を～

#### 歯科ドック5つの特徴



#### 歯科ドックの流れ

**お申し込み**  
申込用紙に必要事項をご記入の上、病院受付にお出しになるか、郵送してください。健診は予約制で行っています。

**＜健康診断 当日＞**  
健診には約2時間程度かかります。

**＜健康診断 後日＞**  
来院して頂き、健診結果を歯科医師から説明させていただき、ご相談にのらせていただきます。

#### 健診項目 (基本メニュー)

- ・むし歯 (う蝕の有無と進行程度、かかりやすさ)
- ・唾液 (唾液量、pH、細菌の種類と数)
- ・潜血反応 (歯周病や粘膜からの出血の有無の判定)
- ・歯周病 (歯周病の有無)
- ・口臭 (う蝕や歯周病、清掃状態にも関係)
- ・舌・口腔粘膜 (視診、触診)
- ・咬み合わせ状態・噛む力・左右のバランスのコンピューターによる分析・診査
- ・開口量測定
- ・エックス線検査 (パノラマレントゲン写真)
- ・口腔内カラー写真撮影
- ・お口の汚れ程度 (汚れの評価、清掃用具の選択、お口のお手入れ方法)

料金 : 基本メニューは  
自費で¥20,000 (税抜) です。



歯科病院にパンフレットがあります。

詳しい資料の申込用紙は受付にお申し出いただくか、請求ハガキ (パンフレットに添付) でご請求下さい